

第26回福岡県公立大学法人評価委員会 議事要旨

1 日時

平成24年2月16日（木） 13:30～

2 場所

福岡県庁 行政棟10階 特1会議室

3 出席者

齋藤委員長、中村委員、新田委員、藤田委員、両角委員（尾形特別委員欠席）

4 議題

- (1) 第2期中期計画案について
- (2) 役員報酬の支給基準の変更について
- (3) その他

5 議事概要

(1) 議題(1)について

事務局から、各大学のその他中期計画において定める事項案及び中期計画における三大学共通事項等の修正箇所について説明、九州歯科大学、福岡女子大学及び福岡県立大学から中期計画案の修正箇所の説明後、委員による審議が行われた。

中期計画案については、一部再協議が必要な事項を除き了承された。再協議事項の修正等の確認については委員長へ一任され、中期計画案に対する知事への意見書は、委員長の確認終了後に作成することとされた。

委員からの主な意見は次のとおり。

〈各大学のその他中期計画において定める事項案に関する意見〉

- 大学の活動を支える資金である収支計画予算について、第1期中期計画との比較で福岡女子大学は約26億円の増加となっており、その主な要因は新学部開設に伴う学生数及び教員数の増加によるものということである。第1期と比べると大きく予算が増えており、あらためて新学部の理念・目的を実現するためのしっかりした教育を要請したいと思う。

〈九州歯科大学の中期計画案に関する意見〉

- 外部大型資金獲得の達成目標について、科学研究費やその他の研究費に加え、文部科学省等が設定する大型プロジェクトの獲得も目標に掲げており、大いに期待するところである。

〈福岡女子大学の中期計画案に関する意見〉

- 「私費外国人受入留学生の受け入れ国の多様化」について、学力による入試

のみでは留学生の受け入れ国の多様化は難しいのではないかと。例えば県が交流・連携している国や地域の推薦を受けた学生を受け入れる等の方法を取り入れたらどうか。

〈福岡県立大学の中期計画案に関する意見〉

- 教育に関する達成目標の立て方について、教育の改善指標を見るのに「学生の成績：C以上80%」の記載が多い。また、GPAを活用して学生面接をするともあるが、こういったものは教員が成績をつける基準等がかなり徹底していないと機能しない。
- 「産炭地記録資料の英文アーカイブ化と国際学術研究交流の推進」について、英文アーカイブ化についてのコンセプトを学内で明確にし事業を進められたい。相当な事業と思われ大いに期待するところである。
- 「教員の志気を高める教育環境の整備」と「運営体制の整備（リスクマネジメント体制の整備）」を同じ項目にするのは違和感がある。

(2) 議題(2)について

事務局から役員報酬の支給基準の変更について説明。基準の変更内容について、異議はなかった。